

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) Shintaro Fujinari
所属 (School) 工学域 物質化学学類
学年 (Grade) 3

留学先 (Name of overseas institution)
マラヤ大学研修
留学期間 (study abroad period)
2019/8/18~2019/9/8
記入日 (Date) 2019/9/15



留学レポート Study Abroad Report

僕がこのプログラムに参加したきっかけは、いろいろな理由がありますが、1番はポータルに載っていた募集のページをたまたま見つけたということでした。なので、英語が得意だったわけでもなく、英語がほとんど話せない状態でこのプログラムに参加しました。行くまでは海外の文化に戸惑ったり、コミュニケーションがとれなかったらどうしようと考えたりもしました。

向こうに着いた初めに、空港に現地の学生が迎えに来てくれて迷うことなく寮に行けてほっとしました。寮では現地のバディ1人に対して日本人3人が同じ部屋で暮らし、自由時間は、基本的にはこの4人での行動でした。僕の部屋の日本人3人は、それぞれ違う大学の人たちで、少し個性的な感じの人もいましたが3週間の間、そのような人とも何事もなくうまく生活するという面に関して普段体験できないことだったので良い体験ができました。学校がある日には朝7時50分のバスに乗り大学に向かい、大学で朝ご飯を食べるという生活で起きるのがきつかったです。マレーシアのご飯はどれもスパシーなものが多く、個人的な印象としては辛いものか甘いものしか味付けがないように感じました。ドリンク類も甘いものが多かった印象です。

朝食後9時から授業がありました。英語の授業は、ライティング・スピーキング・リーディング・グラマーの四種類がありました。最初の3日間ぐらいは、先生の話の間こうとしても何を言っているのか全然わからなくてつらかったけれど、授業で行うゲームなどを通して少しずつ楽しく英語が理解できるようになっていったので良かったです。

リーディングの授業は毎回先生がエキサイティングなゲームを持ってきてくれて、眠いときも頭の体操から始まるので、集中してリーディングの授業を受けられました。また、読んだ英文の中に出てきた語彙を学んだり、段落のサマリーを英語で発表したりするなど、リーディングを通していろいろなことが学べました。グラマーの授業では時制のことが中心の授業でした。今まで日本で受けた授業では、時制の形を選択するときに、どうしてこれになるのだろうか、適当に選んで使っていたりしてよくわからないことが多かった分野だったけれど、このプログラムを通して苦手であまりだったところのニュアンスがわかったので良かったです。

ライティングの授業では、主に文や文章の構成についての内容でした。日本でいう国語のような感じで、今まで英語の文章の構成については習ったことがなかったので、良い機会でした。また、ライティングの先生は他のホームステイなどのイベントにも同行してくださり、とてもフレンドリーでそれぞれみんなの名前も覚えてくださっていてとても話やすかったです。インスタグラムも交換できました。スピーキングの授業は主に発音・アクセント・シラブルの判別などでした。

スピーキングの授業は、ライティング・グラマー・リーディングと違って、日本の授業ではほぼ取り扱われていないところだったので一番恐れていた授業でした。しかし、スピーキングの先生が初歩の初歩から教えてくれてわかりやすかったし、とても親切でフレンドリーな人だったので、発音の仕方がわからないところがあっても質問しやすかったのも良かったです。洋楽を使って発音の練習をするのもよかったです。The color vowel chart を使って舌をどの位置に置きながら発音するとか、日本語と違い母音には様々な音があるということが学べた。

授業には英語学習だけではなく、マレーシアの文化に触れるミュージックアンドダンス・ストーリーテリングという名前の劇の練習・マレーシアの伝統料理の調理実習・マレーシアンカルチャーがありました。ミュージックアンドダンスは選択制で僕はダンスを選択しました。ダンスの授業は現地の先生がマレーシアの伝統的な音楽でダンスをするというもので覚えるのが大変でしたが楽しみながらでき、最後のクロージングセレ

